

第14回 全単位PTA会長研修会

次代を見据えた活動へ

本会は、感染拡大防止対策が十分に講じられた中、県内16郡市等の県P連理事と単P会長経験1年目の会長らが一堂に会し開催。組織の牽引役としての資質の向上を図るとともに、生涯学習の視点に立った単Pの研修活動を推進することを目的とした研修会。開会に際し、今年度から県P連会長に就任した山田弘樹会長があいさつ。「コロナ禍の中、各単Pにおいて従来の活動の見直しや新たな取組等、新しい生活様式を踏まえながら活動を続けてきたことに心より敬意を表す。本研修会は、単Pの活動をより良く発展さ



開会のあいさつをする山田県P連会長

7月31日(土)、第14回全単位PTA会長研修会が大分県教育会館で開催された。テーマは、「単P会長として見えてきたPTA ～リーダーのすゝめ! 会長って何するの?～」コロナ禍の中、県内の357単位PTAから新任会長ら約100名が出席し内容の充実した会となった。

大分県PTA 広報誌 美くくは 発行所 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 責任者 山田弘樹 印刷所 大分市下郡3154の22 九州凸版印刷株式会社

楽しくなくっちゃPTA会長じゃない! motto ひょうご代表 栗木 剛氏 栗木氏がPTA会長だった頃、感じたことは? 役員になったからこそ、入る情報がある。自分を楽しみながら、それを仕入れたら向こうから転がってきまねん!!

くりきつよし (mottoひょうご代表) 1959年生まれ。神戸大学教育学部(現 国際人間学部)特殊教育課卒。野外活動、PTA研修など幅広いレパートリーで「楽しくなくっちゃ講演会じゃない!」をメインテーマにちよっと変わった研修や講演活動を行う。

視野を広げ 歩み続ける 全体研修会では、motto ひょうご代表の栗木剛氏による「楽しくなくっちゃ PTA会長じゃない」と題した講演会が行われた。 「あなたは、なぜここに来るはめになってるんですか?」を始めとする栗木氏の笑いを誘う問いかけに対して、出席した会長同士が話し合う時間も設けられた。 栗木氏は「コロナ禍以前に子どものため、地域のために取り組んでいた、PTA活動を2年間休止すれば、内容を忘れ再開は難しい。また、保護者同士のつながる機会や悩みを共有する場がなくなっていることを忘れないでほしい。一方、現況下、活動は制限さ



栗木氏の質問に笑顔で語り合う初対面の会長たち

自身が前向きな気持ちで活動に取り組み姿を会員に見せることは協力体制につながる。視点を変えればチャンスは得られる。今日もその一つ。この会を通じて、離れた地域の会長と顔見知りになり、つながり合えるのは、これからの活動に生きてくる。県内の北と南、東と西の会長同士が語り合うことも今後の活動への視野を広げるチャンスになる」と語った。

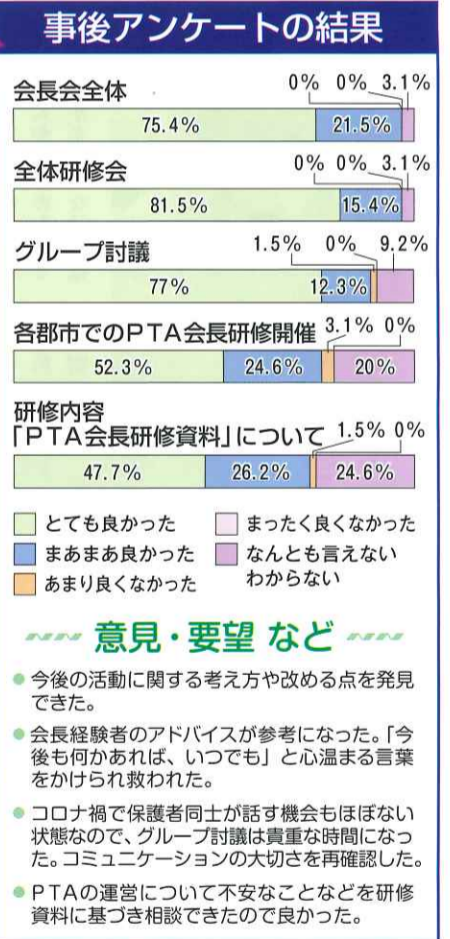
▼PTA会長の役割について 保護者同士をつなぐ橋渡し役。より多くの会員が活動に参加しやすい環境づくりを心がける。 ▼役員の出選について 誰でも引き受けられるような環境をつくる。前任者を含め役員をサポートする体制を整えることが必要。 ▼子どもの教育環境について 学校の統廃合、教職員の欠員等、各郡市により教育に関する体制が異なる。子どもを軸に柔軟な対応が望まれる。

▼PTA会長の役割について 保護者同士をつなぐ橋渡し役。より多くの会員が活動に参加しやすい環境づくりを心がける。 ▼役員の出選について 誰でも引き受けられるような環境をつくる。前任者を含め役員をサポートする体制を整えることが必要。 ▼子どもの教育環境について 学校の統廃合、教職員の欠員等、各郡市により教育に関する体制が異なる。子どもを軸に柔軟な対応が望まれる。

▼コロナ禍におけるPTA活動について SNSを活用して情報交換を行い、会議は短時間にした。活動の目的を再確認しつつ、あらゆる状況に対応できる新たな活動を模索している。 ▼PTAの加入について これまでのように、継続してPTAの存在意義を保護者に周知することが重要ではないか。 ▼ネットモラルについて 親子でネット利用時に起きるトラブルや危険性について語り合う。会話を通して問題点を探り、家庭でのルールを決める。



各単Pの現状を討議する会長ら



「声を出して元気に挨拶する子どもが少なくなってきた」 「下を向いて帰ってくる」子ども達を心配する声があつて子ども達の運動する機会が少なくなつた。そのため遊びにも変化が生じた。また運動する機会の減少は食欲も減り、給食を残すようになった。今、大切なことは、「やった!!」「やった!!」の達成感を子ども達に与えることだ。▼学校での子ども達の生活が気になってきたとき、学校へ出向く機会をいただきたい。校内の子ども達は挨拶もよくできるし以前と少しの変わりもない。ただ、以前のよう元気な声は聞かれない。「わっ!!」と言って集まってきたのスキップはみられない。これはコロナ禍の中致し方ないことだ。けれども学習が始まると、子ども達の集中力は見事である▼1年生は初めての俳句との出会いであるが話の聞き方も素晴らしい。作業が遅れた友だちへの声かけをお願いすると、静かに話相手になり片付けの手伝いもできる。さらに授業の終わったあとにも「また、出来た」と用紙を求める。学んだことをすぐに生かそうとするその姿に感動、頑張るその姿を共に称え合うひとときであった▼コロナ禍の中、子ども達には多くの制約が課されたが子ども達は元気。一日も早く全身を使って活動出来る日の近いことを願うばかりだ▼どんぐりははばりかぶってわらわら。どんぐりがおちてくるからとめたいな。どんぐりのきれいないろをひろったよ。どんぐりがかぜでゆれてるかわいそう。どんぐりをひろってかえるおみやげに(1年生)

特別企画

こどもたち

# 光り輝く地域の宝のために

## 大分県PTA連合会って何をしているの？



大分県PTA連合会は、6月に新体制が発足した。山田弘樹新会長を中心に新たな取組がスタート。子どもたちを取り巻く環境が急速に変化しつつあるなか、地域の宝である子どもたちのために、さまざまな活動を行っている。9月15日(水)、教育会館で会長・副会長に活動の現状と、今後についての思いや課題について聞いた。

### そもそもPTAって??

PTAのPは保護者、Tは教職員。両者で組織された社会教育関係団体です。PとTだけでなく、家庭・学校・地域社会が互いに協力し、子どもの健全育成を図ることを目的に活動を行っています。各学校単位で運営方法は違います。



### PTAの組織



### 大分県PTA連合会って?

昭和23年に結成し、平成30年に創立70周年を迎えました。各郡市等P連相互の連携を図るとともに、学びの機会(研修等)を充実させ、家庭の教育力を高めることに努めています。



### 子どもたちのために、今できることを活動が制限されている今だからこそ考えたい

山田

「新しい生活様式」を実践し、少しずつPTA活動も動き出しています。今回、県P連の取組をお話するなかで今できること、今後の方向性等を考えていきたいと思っています。

山田

PTAには上部組織というのではなく、基本は各学校のPTAです。単Pの集合体が郡市等P連で、その集合体が県P連です。県P連は決して上位の組織ではなく、各単Pをつなげ、情報を交換・共有し合う「かけはし」のような組織です。

曾宮

コロナ禍で、以前と比べ活動ができない状況が2年目です。「他の郡市はどのような活動をしているのか?」のような現状なのか?を知りたいとき、県P連があれば、集い、話し合うことができます。

仁田野

集まることができなくても、WEBや配信等で取組を共有できます。県P連の活動は大人が楽しめる場です。大人が楽しめる場です。



副会長 曾宮 康生

山田

十数年、PTA活動に関わっていると、やはり「ひと」につながるところが良いところだと思います。単Pでも郡市等P連でも県P連でも、いろいろな地域があり、多様な「ひと」に出会うことができます。自分自身の経験に良い影響を与えているし、生きがいの一つにもなっています。

平本

子どもたちに楽しく発信ができません。PTA活動の良さは、人と人がつながる活動から生まれます。「行ってみたい参加してみても良かった」出かけてみて、活動してみても良かった」と思える活動をどのようにやっていくかが重要ですね。

御膳

「保護者や教職員が子どものために勉強する場」です。社会の変化が激しい今、戸惑いや疑問があると思います。家庭で共に過ごす保護者は子どもに大きな影響を与えているので、大人にも時代に沿った知識や考え方は必要です。PTA活動も見方を変えれば大人の学校。大人も子どもも、活動を楽しんでほしいです。

伊藤

私たちの一生のうちで子どもを育てている期間は短いですが、PTA活動は「子どものため」という認識が広まっていますが、学校生活をサポートする活動を通して、子どもだけではなく大人も社会とつながることがあります。今こそ必要ではないでしょうか。



大分県PTA連合会会長 山田 弘樹

PTA活動の話は「子育て」の話題に繋がっていきまね。今こそ必要性、重要性を見つめ直すときでしょう。

山田

県P連であろうと単Pであろうと、活動の目的は、結局は子どもに向かっていることは間違いありません。PTAでも、育友会でも、

私の子どもは障がいを持って産まれてきました。当たり前が何一つ通用しない子育て、愛情だけで育つと思っていて初めて育児は困難ばかりでした。そんな私に、育児の楽しさや家事の工夫など毎日を楽しんで過ごせるきっかけをくれたのはPTA活動を通じて知り合えたお母さん達でした。育児を楽しむお母さん達の姿から、困難だと思っていた育児の中でもとても多くの事を息子から教わってきたのだと気づかせていただきました。育児の悩みは誰もが抱えているもので過ぎてしまえば小さな事だったと思えるものです。お子さんが不登校で悩まれているお母さん、日々の生活の中で人と関わる機会が無く閉塞的だったお母さん、自分の育児に自信が持てなかったお母さん、色んな悩みを持つお母さん達と共に、励まし合い楽しくPTA活動をしていく中で、気づけば多くの悩みは皆んな解消してしましました。家の中でお母さんが太陽のように明るく暖かく家族を照らす事ができれば、育児の悩みは改善に向かうという経験を沢山してきました。子育ては親育て、子どもの姿を自分の写し鏡と捉え、親の心の持ち方で如何様にも切り替えて行く事が出来ます。



一人では難しい事も同じように子育てをする親同士のネットワークは本当に心強く有難い繋がりが感じました。そんな繋がりを持たせてくれたPTA活動をこれからますます楽しんでいきたいと思っています。

大分市PTA連合会

会長 平本 泉

### 事業をスタートした時の目的を振り返り、時代に合わせて変えていく

県P連の事業内容の紹介をお願いします。

山田 教育委員会と研修部会の主な取組を紹介します。

御幡 (教育委員会) 教育問題懇談会

これは大分県全体の子どものための教育環境の充実を図るため、県教育委員会と今、必要とされるテーマを設定して意見交換を行い、今後の展望を確認する

山田 県教育委員会とはパートナーとして、県全体の声を伝える重要な会です。

山田 県PTA研究会 各都市持ち回りで開催される大会の運営サポートを行います。

山田 県PTA研究会 各都市持ち回りで開催される大会の運営サポートを行います。



副会長 御幡 雅章

山田 県PTA研究会では各分科会で

仁田野 (研修部会) 全単位PTA会長研修会

令和4年2月に、第30回 玖珠郡大会がありますね。コロナ禍によりWEB配信となりましたが、着々と準備が進んでいますね。

伊藤 山田 令和4年2月に、第30回 玖珠郡大会がありますね。コロナ禍によりWEB配信となりましたが、着々と準備が進んでいますね。



副会長 平本 泉

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で



副会長 伊藤 みどり

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

山田 県PTA研究会では各分科会で

県PTA研究会
教育問題懇談会
全単位PTA会長研修会
指定研究事業
PTA広報紙コンクール
PTA安全補償制度

### 「大変なもの」から「ちょっと面倒くさいけど、やって良かったな」と思える活動を目指して

これまでの活動をふまえ、今後の問題・課題についてお聞きします。

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

平本 保護者の考え方の多様化や生活様式の変化において、PTAの良さが伝わりにくい時期にきていると感じます。「時間が取られる」「負担が大きい」ということばかりが浮き彫りになり、本質の「何のために組織されているものなのか」ということが伝わりにくい。

御幡 PTAの本質をP(保護者)とT(教職員)がともに



副会長 仁田野 繁昌

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

平本 保護者の考え方の多様化や生活様式の変化において、PTAの良さが伝わりにくい時期にきていると感じます。「時間が取られる」「負担が大きい」ということばかりが浮き彫りになり、本質の「何のために組織されているものなのか」ということが伝わりにくい。

御幡 PTAの本質をP(保護者)とT(教職員)がともに

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

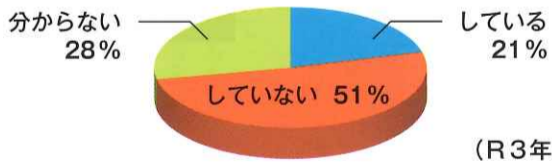
### 令和3年度 第14回全単位PTA会長研修会 アンケート結果報告

大分県PTA連合会では、『大人が・子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て』の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」(令和3年度改め)を推進しています。

#### PTAのすゝめ

- 一、大人が示そう あいさつの手本
- 二、子どもと遊び 伝えあふ関係
- 三、学校と地域をつなぐ 信頼の絆
- 四、地域と学校を 活かす心掛け
- 五、みんなが笑顔で 子育て
- 六、PTA活動を 楽しもう 子育て

#### 「PTAのすゝめ」を活用していますか？



#### ① どんな活用をしていますか (複数回答)

- \* PTAの会議資料の表紙に印刷した
- \* PTAの資料と一緒に配布した
- \* 新1年生に配布した
- \* 広報紙に掲載した
- \* 自己研鑽に活用している
- \* 総会の会長挨拶のなかで呼びかけた

#### ② 今後どのように活用するとよいと思いますか

- \* 総会や会議等で取り上げる
- \* 研修会等で唱和する
- \* 会議資料等に掲載する
- \* 活用方法を郡市P・単Pで統一しては

#### ③ 意見・要望

- \* 具体的な活用法の情報を提供してほしい
- \* 活用について県P連より指導してほしい
- \* PTAについて考えるきっかけになる

(回答は一部抜粋)

御幡

コロナ禍が収束し活動が正常化した時、PTAも学校もどう変わっていくか、というのは重要なところで。活動が制限されて2年目になり、活動の記憶が薄れて、今年何もしなかったから来年それを知っている人がいない。知らない人が役員になり、その時に、助けになるものや、記録や記憶を活用する仕組みが機能するでしょうか。「もうやらなくていいのでは」となってしまいかもかもしれません。財産がほとんど失われていく状況です。そこで県P連の役割は重要ですね。

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

平本 保護者の考え方の多様化や生活様式の変化において、PTAの良さが伝わりにくい時期にきていると感じます。「時間が取られる」「負担が大きい」ということばかりが浮き彫りになり、本質の「何のために組織されているものなのか」ということが伝わりにくい。

御幡 PTAの本質をP(保護者)とT(教職員)がともに

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

山田 県P連は単P・郡市等P連をつなぐ役割を担い様々な情報を収集・共有して、子どもたちの輝く未来のために各都市の代表者が集まって、知恵を出し合う場です。

(回答は一部抜粋)

